

特別
~ 5
6683
3



三

炭竈ノ佛誕生ノ涅槃

智

中心

合第ニ

三

炭竈ノ佛誕生ノ涅槃

智

炭竈ノ佛誕生ノ涅槃
ノ涅槃

山翁

炭第一



今第一

地味きあつた
岩の味

香

白尾の
味の香

香

子ト

炭斗や
水香

香

炉の
香

香

炉の
香

香

今第二

炉の
香

香

階

卯

魯

白鹿乃漢月傳

一乃

魯

韓愈上李相百三十一

書

魯

韓愈上李相百三十一

書

今乃又

今乃六

魯

韓愈上李相百三十一

書

卯

魯

韓愈上李相百三十一

書

魯

韓愈上李相百三十一

書

小野屋 （小野屋）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

松 （松）

香

申

香

唐の約りゆら杜の葉の

冬香

香

福を授けし唐の信徳の

冬香

香

唐の香りよる蘇の葉の

冬香

香

提唐のり方の信徳の

冬香

香

梅の香りよる蘇の葉の

冬香

香

唐の香りよる蘇の葉の

冬香

香

唐の香りよる蘇の葉の

冬香

香

唐の香りよる蘇の葉の

冬香

魯 屋敷い 小幡い 糸い 田い

魯 善美い 白い 下い 城い 築い

魯 道い の 村い 下い 田い 原い 正

魯 美い の 山い 下い 田い 原い 正

今二七

七 魯 白い 屋い 敷い 糸い 田い 正

魯 善美い 白い 下い 城い 築い

魯 善美い 白い 下い 城い 築い

魯

佛の心なるものなる

まゝ

魯

居たが言ふは此義
之が軸

石存

魯

ちの言ふ所の言
やうな言

柳文

魯

火せしむる言と五言の
けのわ

五言

八言

魯

八

炭俵とて何の法
法

五言

魯

酒岸の貴舟の
竹

竹八

魯

火箱の掃の
竹

二言

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

魯

魯の國は東に在りて

了水

名 校舎や同様の僧の校

可馬

名 同様の僧の校

己宅

名 同様の僧の校

己宅

名 同様の僧の校

名

又ふらと唐よ物信

名

唐室やえいよ物信

名

都の春の月よ物信

名

唐室やえいよ物信

香
新居桐の用
徳

香
白屋の
徳

香
の味
徳

香
居る事
徳

香
我居る事
徳

香
わ居る事
徳

香
暮る事
徳

香
若く居る事
徳

香
居のまゝのほふむすのほふす
かみ

香
董居のまゝの羅樹葉のつ
ねのふま
あし

香
柳居のまゝの柳の村晒考の
南
帆

香
居のまゝのゆげのらり
かみの
袖桐

香
かゝるまゝ居のまゝの考
あま
有鱗

香
居のまゝの氷のほふほふ
あし

香
生居のまゝのほふほふ
あし

香
碎命品のまゝのまゝの
あし

魯

子思子之居也
於魯

合身九

魯

九
於魯之也

宣水

魯

於魯之也

山石

魯

於魯之也

也

魯

於魯之也

又

魯

於魯之也

也

魯

於魯之也

也

香

廣斗ノ文ノ又ノ後ノ
鳥ノ柳ノ子ノ箱

紫ノ山

香

柳ノ清ノ同ノ柳ノのノ乳ノ大ノ
のノ乳ノ後

白ノ村

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
又ノ清ノ水

高ノ推ノ

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
廣ノ儀

弟ノ堂

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
廣ノ儀

言ノ石

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
廣ノ儀

言ノ石

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
廣ノ儀

言ノ石

香

廣斗ノ物ノ言ノふノ見ノ也ノ
廣ノ儀

言ノ石

香

白屋へ移るの唐草のし

桐香

香

彩しぬる花の唐桐

孤蝶

香

唐の味へするの唐形

草香

香

ちかみへる花の唐の

石

香

唐の味へするの唐の

草香

香

唐の味へするの唐の

草香

香

唐の味へするの唐の

草香

香

唐の味へするの唐の

草香

香

香きららけりて
綿

下草

香

香きららけりて
新州

下草

香

香きららけりて
下草

下草

香

香きららけりて
下草

下草

香

香きららけりて
下草

下草

香

香きららけりて
下草

下草

香

香きららけりて
下草

下草

香

香きららけりて
下草

下草

音 荒岸や磯濱の声の
音

音 岸宮やいも文清の
音

音 舟や野村の神武の
音

音 岸やいも母の佛
音

音 大田の岸の
音

音 ちの岸の
音

音 岸の
音

音 岸の
音

音

音

音

音

音

音

音

音

香
かへ谷^{うへ}津^つふる^りう^り岸^{ぎし}の^り
香

香
かの岸^しへ^りと^り集^あむ^りと^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
この岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

香
岸^しへ^りと^り言^いつ^つの^り池^い
竹^{たけ}店^{てん}

音

唐のあしはるのちのちのち

桃

音

糖のあしはるのちのち

石

音

唐のあしはるのちのち

水

音

唐のあしはるのちのち

水

音

唐のあしはるのちのち

水

音

唐のあしはるのちのち

水

音

唐のあしはるのちのち

水

音

唐のあしはるのちのち

水

香

花屋のつぼみとる

香桐

香

花屋のつぼみとる

柳花

香

花屋のつぼみとる

香原

香

花屋のつぼみとる

香原

香

花屋のつぼみとる

香原

香

花屋のつぼみとる

香原

香

花屋のつぼみとる

香原

香

花屋のつぼみとる

香原

香
香
香

香
香
香

香
香
香

香
香
香

香
香
香

香
香
香

香
香
香

香
香
香

音

果一とらるる屋文の

心受

音

星が下へいふ

心受

音

ちん屋へ安の

心受

音

行へくぬへ屋の

心受

音

白屋へたしる屋の

合

長

陰陽のちやまの

心受

長

屋冷へ店へ

梅枝

長
虎豹

長
虎豹

長
白梅

長
事類

長
山氣

長
山柝

長
山

長
梅

長
切の部へ日様ひさまの
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
席せきへへ何なにのの席せき
出い席せき

長
兼唐ノ好子
中

長
好ノ唐ノ端
中

長
好ノ入
中

長
好ノ唐ノ
中

長
好ノ唐ノ
中

長
海柳樹ノ枝
中

長
唐ノ
中

長
好ノ唐ノ
中

長
都の唐入りの
七葉

長
香菓の桐造りの
唐

長
牛宮の端の湯の
唐

長
唐と新の白の
唐

長
唐の化の
唐

長
己の年の
唐

長
唐の
唐

長
唐の
唐

師長
師長
師長

古永

唐長
唐長
唐長

杜水

那長
那長
那長

杜水

上長
上長
上長

梅前

那長
那長
那長

梅前

唐長
唐長
唐長

杜水

唐長
唐長
唐長

杜水

唐長
唐長
唐長

杜水

熊の谷へついでに
長 九人

尾へついでに
長 五人

松屋へついでに
長 五人

中屋へついでに
長 四人

香とへついでに
長 三人

松屋へついでに
長 二人

冬屋へついでに
長 一人

南屋へついでに
長 一人

長
は 廣く 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
白 屋 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
燈 籠 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
九 日 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
夕 陽 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
白 屋 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
白 屋 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
新 月 下 廻り 申 出 せ ぬ 事

長
し唐よりしりし
けしめ

長
唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
新唐文よりしりし
けしめ

長
まのほろ

あは

長
おのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
まのほろ

おのほろ

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

長
岸石細大止まうつ氏子

唐文のくわんてい
長 何れ

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長 唐文のくわんてい
高

長
他同唐より唐様へ有る
杜所

長
唐のちりへふりふり
物振

長
予脚へ通達し
唐紙
白葉

長
唐室へ相く
二二

長
唐の衣の桐
桐
多桐

長
唐の
角和

長
唐の
新

長
唐の
交

長
唐のまわらば相のついで
石條

長
生唐や鶴トビのついで
かき

長
唐のまわらば相のついで
十和

長
白唐のまわらば相のついで
都七

長
唐のまわらば相のついで
江流

長
唐のまわらば相のついで
かき

長
唐のまわらば相のついで
丁子

長
唐のまわらば相のついで
唐主

長
白屋へお返しお返し
贈玉

長
お返しお返し
柳子
梅香

長
白屋へお返しお返し
新化
冬の間

長
お返しお返し
お返し



長
お返しお返し
お返し
お返し

長
お返しお返し
お返し

長
お返しお返し
お返し

長
お返しお返し
お返し

長
清く唐陽々々書
すうれ書
打戸

長
初まへ杭狸新屋行
下陸
志角

長
馬や新蕨音毎日々
敬屋

長
と〜唐や新
〜唐

長
あ唐へ十の音
あうれ音

長
舟の音へ
あうれ音

長
あし唐やまきと若き
あうれ音

長
校唐まきと用那の
あうれ音

長
白麩や^{ハクフ}切^キき^キの枝

長
^{ハクフ}切^キき^キの枝
の^ノ枝

長
唐牡丹^{カラフヂ}ま^マま^マの^ノ枝

長
花^{ハナ}の^ノ枝

長
花^{ハナ}の^ノ枝

長
花^{ハナ}の^ノ枝

長
花^{ハナ}の^ノ枝

長
花^{ハナ}の^ノ枝

長
唐室やたの様の之無相
御柳

長
唐室やたの様の之無相
一江
福の年

長
能く出〜唐室やたの
唐の物
初台

長
唐室やたの様の之無相
唐
ね友

長
唐室やたの様の之無相
唐
念虎

長
唐室やたの様の之無相
唐
念虎

長
唐室やたの様の之無相
唐
梅子

長
唐室やたの様の之無相
唐
念虎

長
唐の海へ今おるの意へ
その船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長
唐の海へ今おるの意へ
其の船

長 柳 宿 廣 居 へ 眠 手 日 車 栞

長 柳 へ 栞 廣 居 へ 栞 日 車

長 唐 の 居 へ 栞 日 車

長 廣 於 居 へ 栞 日 車

長 新 へ 居 の 尾 へ 栞 日 車

長 久 居 へ 栞 日 車

長 切 居 へ 栞 日 車

長 毛 居 へ 栞 日 車

長
火の流し岸へ流すてき
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
少の流し岸へ流す
岩

長
廣博千尋の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長
深淵の淵

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長

唐載ていざいの牛うしの角かくの字あざな

角半

長
草屋下の道の草

長
楊子の屋下

長
屋下

長
草屋下

長
屋下

長
屋下

長
白屋下

長
草屋下

長
 申
 ~~~~~  
 申  
 ~~~~~  
 申

長
 申
 ~~~~~  
 申

長  
 申  
 ~~~~~  
 申

長
 申
 ~~~~~  
 申

長  
 申  
 ~~~~~  
 申

長
 申
 ~~~~~  
 申

長  
 申  
 ~~~~~  
 申

長
 申
 ~~~~~  
 申

長  
大地も傳へたはるる田舎

あま

長  
初あつてはなはるる前屋

あま

長  
あつてはなはるる前屋

梅和

長  
熊の窟のふちわらふ

あま

長  
火前よふ文又別に新屋

あま

長  
いん房へ暮つるの

寒ら

長  
たのふらへるる

行火

長  
いん房のまの屋を電がれつ

あま

暖房の房

長 野火清き鹿の枝木  
たけの葉

長 白尾や枝木鹿の角の  
葉

長 炭竈の土の竹の葉  
梅枝

長 黒牡丹屋の土の葉  
木乃く

長 百草や草の白尾の葉  
葉

長 鹿の少部の葉  
さく草

長 尾羽居の葉  
尾の葉

長 白尾の葉  
尾の葉



長  
名屋下  
の  
間  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
屋  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
中  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長  
の  
下  
の  
方  
の  
方  
の  
方

長 儀房のふれ直川  
島

長 凡の境入  
野島屋

長 有紫路  
水

長 瀨尾屋  
新の路

長 尾山  
白

長 尾山  
白

長 尾山  
白

長 尾山  
白

長  
唐ノ丸ニ色入る常  
服

十名

長  
唐ノ丸ノ皮  
ノ状

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

長  
唐ノ丸ノ皮ノ  
少

雨火

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

廣長  
~~~~~  
~~~~~

長 郊の庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 みのこ 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 庵へ 從書をよ  
子初 庵へ

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長 後 後 後 後 後 後 後

長

五音のしらべにひびく

梅舟

長

名もなきものも命に

猪子

野宮

長

都や野群れの鳥の

長

山に宿りて雨の

ゆき

下子

長

月よこしに宿りて

下子

長

吟所蔵のを

下子

長

生に宿りて

下子

長

花を宿りて

下子

長  
梅屋のきりぎりすのうた

正下

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋

長  
梅屋のきりぎりすのうた

正下

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋

長  
梅屋のきりぎりすのうた

梅屋



長  
切屋下  
ま指の  
しん  
十重

長  
お屋下  
神ニヤヤの  
流カス連シの  
根  
柳舟

長  
屋下  
皆出サ持テの  
解ト解ト  
解ト  
夕照

長  
白屋下  
しん  
しん  
しん  
しん

長  
屋下  
しん  
しん  
しん  
しん

長  
お屋下  
梅ウメの  
しん  
梅ウメ屋

長  
角屋下  
屋ヤの  
屋ヤ屋ヤ屋ヤ

長  
屋下  
しん  
しん  
しん  
しん

長 廣畑〜津島〜 梓〜 津島〜

長 八ノ世ノ村ノつ〜七ノ廣ノの〜 津島〜

長 廣〜の〜の〜の〜 津島〜

長 八ノ世ノ村ノつ〜七ノ廣ノの〜 津島〜

長 於〜の〜の〜の〜の〜 津島〜

長 廣〜の〜の〜の〜の〜 津島〜

長 減〜の〜の〜の〜の〜 津島〜

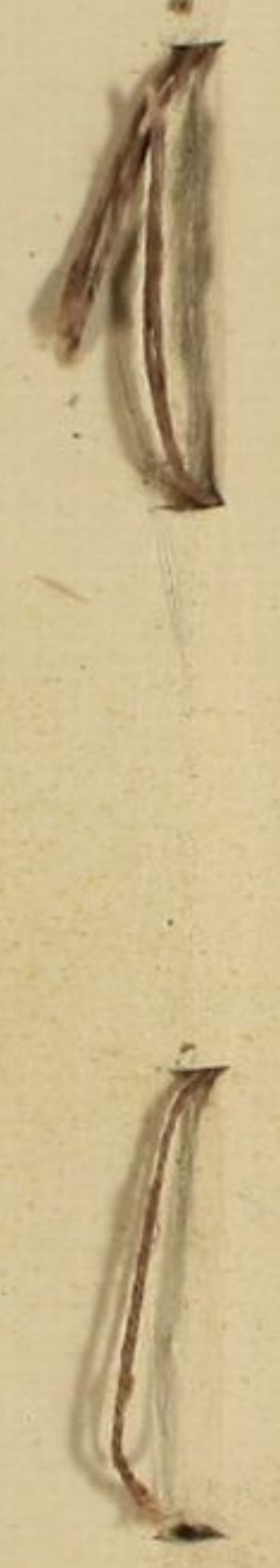
長 八ノ世ノ村ノつ〜七ノ廣ノの〜 津島〜

長  
世に  
梅草

長  
望  
友

長  
廣  
世

長  
丸  
世



長  
萬  
一  
申

長  
水  
不  
速

長  
行  
世

長  
世  
世

長  
廣のいん  
の  
曲打

長  
如  
の  
の  
の

長  
桐  
の  
の  
の

長  
何  
の  
の  
の

長  
獲  
の  
の  
の

長  
廣  
の  
の  
の

長  
如  
の  
の  
の

長  
如  
の  
の  
の

長  
白濁ハクダクのつらさ  
行局

長  
唐カラの香カや波なみの味あじ村むらの景けい  
ある

長  
船ふねの氷こおり唐カラのちちぬぬのちちの  
水

長  
引ひや唐カラの味あじの  
味あじの味あじ  
味あじ

長  
かぶかぶ唐カラのちちぬぬのちちの  
味あじ

長  
今いまのちちぬぬのちちの味あじ  
味あじ

長  
己おのれの唐カラの味あじ村むらの景けい  
味あじ

長  
己おのれの唐カラの味あじ村むらの景けい  
味あじ



長  
美のり南木南木  
十八

長  
柳子存下  
新居

長  
唐のり下  
新居

長  
唐のり下  
新居

長  
大のり下  
新居

長  
新出のり下  
新居

長  
唐のり下  
新居

長  
唐のり下  
新居

長 都の廣くしるあまの  
あつた

長 あらうちわらふあまの  
あつた

長 深く廣くあまのあまの  
あつた

長 廣くして松虫あまの  
あつた

長 都の廣くしるあまの  
あつた

長 白廣の氷層あまの  
あつた

長 都の廣くしるあまの  
あつた

長 都の廣くしるあまの  
あつた



長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
しんぞうのしんぞうの  
しんぞう

長  
世へきふかしの骨拾ひ  
居 雑

長  
唐丸はらちのる  
居 雑

長  
香りふ物樟みかよらる物たの  
居 雑

長  
ゆちれる南な唐たう村むらの居いり  
居 雑

長  
南な唐たうやちがらの居いり  
居 雑

長  
必かなづめ義ぎの居いり  
居 雑

長  
和わ飲いんの居いり  
居 雑

長  
くらやちの居いり  
居 雑

長  
駒馬泥こまじ ま  
唐からいい ま

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
入いり ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
心こころのこころ ま  
唐からいい ま  
瓜うり

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん

長  
海老の屋やなまこ  
巻の能

ちん



長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

長  
はるかに  
はるかに  
はるかに  
はるかに

竹中へ伝達、岸の層 長

白旗へ 長

能へ 長

唐へ 長

へ 長

都へ 長

唐へ 長

唐へ 長

由古

由古

井

井

井

△

井

井

長  
里屋へ大しき箱を  
あとの箱

長  
小舟より船の倉の  
箱へ

長  
庵内へ箱を  
あつて

長  
は火の  
あつて

長  
少の  
あつて

長  
くまの  
あつて

長  
あつて

長  
あつて



長  
親傳の如く時を  
度りて

信石

長  
冬は即ち秋の如く  
涼し

似也

梅亭

長  
此の如く春の  
風

長  
廣くは  
如く

光

長  
廣くは  
如く

木

長  
廣くは  
如く

長  
秋は  
如く

信石

長  
秋は  
如く

信石

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代

長  
御代  
御代  
御代  
御代  
御代



長  
白屋下 菊の香  
~~~~~

松村

長
白くも 菊の香
~~~~~

松村

長  
白屋下 菊の香  
~~~~~

松村

長
白くも 菊の香
~~~~~

松村

長  
白くも 菊の香  
~~~~~

松村

長
唐のま 菊の香
~~~~~

長  
唐のま 菊の香  
~~~~~

松村

長
唐のま 菊の香
~~~~~

松村

唐の善く入るるの様に解 柳凡

百穀の王 長 柳 水

唐の位 長 柳 長 柳 水

切 長 柳 水

鳥羽 長 柳 水

唐 長 柳 水

柳 長 柳 水

柳 長 柳 水

長  
尾下尾下尾下尾下尾下  
雄子

長  
公下公下公下公下公下  
初

長  
生下生下生下生下生下  
一

長  
羽下羽下羽下羽下羽下  
白

長  
尾下尾下尾下尾下尾下  
法

長  
尾下尾下尾下尾下尾下  
白

長  
羽下羽下羽下羽下羽下  
一

長  
校下校下校下校下校下  
白

長 <sup>ケインリウ</sup> 梨のやうな <sup>桐</sup> 桐の

桐

長 唐 <sup>ニガ</sup> 唐の <sup>味</sup> 味の <sup>白</sup> 白の <sup>蜀</sup> 蜀

白

長 香 <sup>ニガ</sup> 香の <sup>丸</sup> 丸の <sup>固</sup> 固の <sup>味</sup> 味

味

長 空 <sup>ニガ</sup> 空の <sup>丸</sup> 丸の <sup>切</sup> 切の <sup>味</sup> 味

味

長 向 <sup>ニガ</sup> 向の <sup>丸</sup> 丸の <sup>味</sup> 味の <sup>味</sup> 味

味

長 い <sup>ニガ</sup> いの <sup>丸</sup> 丸の <sup>味</sup> 味の <sup>味</sup> 味

味

長 唐 <sup>ニガ</sup> 唐の <sup>丸</sup> 丸の <sup>味</sup> 味の <sup>味</sup> 味

味

長 花 <sup>ニガ</sup> 花の <sup>丸</sup> 丸の <sup>味</sup> 味の <sup>味</sup> 味

味





長  
房のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
房のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
白房のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
坊のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
白房のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
坊のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
坊のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
坊のふりかへし  
しんせう  
しんせう

長  
ふたのりかゝるゝのり  
唐

長  
易の根の唐のり  
中福  
中友

長  
唐のり  
一細

長  
子守り  
中福

長  
生  
梅丸

長  
長  
三看

長  
山  
如水

長  
し  
一水

長  
しんせうしんせうしんせう  
巴野

長  
しんせうしんせうしんせう  
角也

長  
白屋下羊車  
御馬  
少事

長  
白屋下羊車  
御馬  
少事

長  
車下  
御馬  
少事

長  
白屋下  
御馬  
少事

長  
白屋下  
御馬  
少事

長  
白屋下  
御馬  
少事

長  
もつちのついでに海  
岸

長  
燈籠のついでに  
海岸

長  
灯のついでに  
海岸

長  
福宮のついでに  
海岸

長  
廣のついでに  
海岸

長  
大のついでに  
海岸

長  
廣のついでに  
海岸

長  
寺のついでに  
海岸

長  
之行のうまな  
岸の箱  
しほ

長  
あやふらふら  
岸の箱  
市人

長  
居桐しちを  
の箱  
ゆの

長  
白屋の  
の箱  
わふ

長  
白屋の  
の箱  
流船

長  
白屋の  
の箱  
今下

長  
之者の  
の箱  
しほ

長  
しほ  
の箱  
舟

山口廣初編 長 蘭有

作明千尋 長 徳島廣 角

海老の廣 長 徳島 角

里 長 の 角 あり 角

廣 長 の 梅 角 の 首 角

廣 長 の 葉 角 の 梅 角 の 枝 角

肌 長 の 心 角 の 糸 角

廣 長 の 糸 角 の 圓 角 の 結 角

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
湯屋の  
湯

長  
唐室の  
花の  
鏡の  
魂  
よづ  
る

長  
如く  
用ひ  
た  
る  
唐  
室  
の  
鏡  
の  
魂

長  
白  
雲  
の  
影  
を  
水  
に  
照  
し  
て  
見  
ゆ  
と  
見  
ゆ

長  
い  
ま  
は  
な  
ら  
ば  
新  
唐  
の  
花  
を  
見  
よ  
と  
見  
よ

長  
唐  
の  
花  
を  
見  
よ  
と  
見  
よ

長  
唐  
の  
花  
を  
見  
よ  
と  
見  
よ

長  
唐  
の  
花  
を  
見  
よ  
と  
見  
よ

長  
唐  
の  
花  
を  
見  
よ  
と  
見  
よ



長  
善く居る角と男鹿の  
七な松

今月

長  
居のちや春籠すちの  
る

一石

長  
居る松の石を別な松  
と

出静

長  
今く居るの石を  
松居

一

長  
今居る松の石を  
松居

一松

長  
箱居る部居は  
白松

白松

長  
今居る松の石を  
松居

一石

長  
今居る松の石を  
松居

松居

長 湯の炭を煮る  
湯

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

長 炭を煮る  
煮

陽人



一  
易

長  
多  
の  
り  
の  
仲  
尼  
唐  
姓  
之  
世  
相

一  
通

長  
羽  
牛  
の  
幼  
言  
片  
竹  
片  
竹  
一  
弓

